

【情報公開文書】

2024 年 12 月 27 日作成

Ver.2.0

研究課題名	日本アフェレシスレジストリ
所属（診療科等）	長崎大学病院 血液浄化療法部
研究責任者	望月保志 （副部長）
研究機関	《研究代表機関》 日本アフェレシス学会 理事長 山路 健 《共同研究機関》 長崎大学病院 血液浄化療法部：望月保志 その他、全国の約 100 施設で実施しています。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。
研究期間	長崎大学病院長許可日～2030 年 12 月 31 日
研究目的と意義	アフェレシス治療は古くから行われてきている治療ですが、全国規模で継続的に行われた治療内容に関する調査はありません。どのような病気に対してこの治療法が行われているのか、また効果や副作用の内容・頻度を明らかにすることで、より効果的で安全な治療を行えるようになることが期待されます。アフェレシス治療に関する情報を収集することで、我が国におけるアフェレシス治療の現状の把握と、より安全・効果的な治療が行うための基礎的な情報を集めることを目的としています。
研究内容	●対象となる患者さん 長崎大学病院長許可日～ 2029 年 12 月 31 日の間に当院で、アフェレシス治療（血漿交換療法、血球成分除去療法、血液吸着、持続腎代替療法、腹水濃縮再静注法）を行われた方です。 ●利用する情報 これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や、画像検査、病理検査などのデータ、実際に行われたアフェレシス治療の治療条件、治療経過、副作用の有無、副作用が見られた場合にはその種類と程度について情報を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。 ●研究の概要・方法 この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、長崎大学病院の施設長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている臨床に関する情報を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。これらの診療情報は、誰のものかわからないようにした(匿名化した)状態で、大阪市立大学が提供しているシステムにインターネットを介して登録を行います。実際の解析については、日本アフェレシス学会のレジストリワーキンググループ、および各施設で行います。あなたの情報・データは、日本アフェレシスレジストリシステム（大阪市大

	が提供しているシステム）に送られ解析・保存されますが、送付前にカルテ番号・氏名・生年月日の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院において望月保志が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行うこともできます。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：望月保志（医師） 長崎大学病院 血液浄化療法部 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7358 FAX 095（819）7360 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間 ：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）